

## 寒風に克つ～強歩大会～

越谷北高等学校長 下山 忍

11月13日（水）に、栃木県栃木市藤岡にある「渡良瀬遊水地」を会場に第45回強歩大会を開催しました。谷中湖という人造湖の外周を走るコースです。埼玉県・栃木県・群馬県・茨城県の近接した場所であり、東武日光線の「柳生」が最寄りの駅です。本校では第30回大会から、この場所で開催しています。当日は、風はあったものの、



天候にも恵まれ、西に富士山、東に筑波山のやまなみが美しく映える、すがすがしい空気の中で実施できました。

男子20km、女子15kmという距離を全校生徒が力走しました。次第に強くなってきた風で走りづらかったのにも拘わらず、完走者が多く、上位者のタイムも良好でした。『越谷北高新聞第288号』でも報道されていましたが、男女とも陸上部が大

活躍。日頃の練習の成果を遺憾なく発揮しました。男子1位の出村君は「不撓不屈の精神が僕を1位にしてくれました。」と語り、女子1位で2連覇を達成した宮田さんは「プレッシャーはあったが、リラックスして走れた。」と語っていました。いずれも見事でした。

学年別に見ると、やはり2年生に順位の高い生徒が多く、大会を引っ張ってくれました。1年生も初めての行事にもかかわらず、上位入賞者も多く出すなど健闘したと思います。3年生は、1・2年次よりも体育の授業時間が減り、受験直前の生徒もいたと思いますが、意欲的に参加していたようです。ゴール付近で友人の完走を称える光景が見られました。それから、走らずに役員として参加した生徒諸君もよくやってくれました。自分の役割をしっかりと務めたほか、後片付けも先生の指示を受けずに積極的に行っていたのは素晴らしいと思いました。



強歩大会の目的は「健康の保持増進と体力の向上を図り、強健な心身を養うとともに、自己の限界に挑戦する」というものでした。よく「知・徳・体の充実」と言いますが、体力は人間の活動の源であり、意欲や気力という精神面の充実にも大きく関わってきま

す。本校は、今年度から「未来を創造するリーダー育成推進プロジェクト」に取り組んでいます。生徒諸君が、将来、社会で自分の役割を立派に果たしていくために、今日の経験も活かしてもらいたいと願っています。

